



登り藤

令和7年2月15日(土)発行
令和6年度 第14号
江戸川区立南葛西第二中学校

令和7年度、さらに魅力ある南葛西第二中学校に向けて

校長 古澤 浩一

南葛西第二中学校では、令和7年度の教育課程の作成を進めています。

令和6年度は「江戸川区教育課題実践推進校」として「魅力ある学校づくり」をテーマに、第2学年の『プラス1クラス制』をはじめ、さまざまな実践を積み重ねてきたところです。

日々の教育活動についての成果と課題を振り返りながら、令和7年度の教育課程を作成することを通じて、年間の行事予定等についても3月下旬にはおおむねまとまってくることとなります。

学習指導要領では、本校ならではの「生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成する」ように、「教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと」が求められています。

また、授業時数(授業のコマ数とも言われます)については文部科学省が標準時数として「1015時間」を示しており、江戸川区では、上限を「1086時間」と定めています。また、次年度からは土曜授業日を行った場合は、土曜日に給食を提供して振替休業日をおくことが原則となりました。

1015時間は1年間の標準授業時数(週あたり29コマ×35週)になります。実際は35週より多いですし、江戸川区独自の教科「読書科」もありますが、定期考査の時期や個人面談週間などの授業カットや、さまざまな行事を考えると、学校独自に学校行事等に使える自由な時間はあまり多くはありません。

令和6年度は学校行事の在り方などの検討も進めながら教育活動を進めてきました。授業時数の確保と学校行事の準備も含めた運営のバランスは引き続き課題となっています。引き続き「学校行事に係る負担の軽減」「教育上真に必要なとされるものに精選」「行事間の関連や統合を図る」といった『令和型の学校行事』への変革を追い求め、さらに模索していく必要性を感じます。

先日の学校評価アンケートにご回答いただきました内容を含め、保護者の皆様、地域の皆様からの声は、すぐに見直しができること・全体の中で方向を考えていくことなど、多岐にわたりますが、次年度の教育課程に生かしてまいります。今後とも、魅力ある学校づくりに向けた提案などいただければ幸いです。

教育課程は、3月末に区教育委員会が受理することで確定します。生徒本位の新たな取組を検討するとともに、さらに「生徒に、保護者に、地域に、教職員に 魅力ある学校づくり」に資する教育課程を編成してまいります。

◇ 次年度の学級数等について

令和5年12月に改訂された『学校適正配置の考え方～児童・生徒数の現状と今後の推計～』(右のQRコードから参照できます)によると、葛西地域の年少人口は緩やかに減少する傾向にあり、本校は当面の間9学級以下が継続する予測となっております。



現在のところ、令和7年度の入学者は3学級相当(81人以上)が見込まれています。

全学年が安定して3学級以上となることが望ましいのですが、現在のところ第2・3学年は80名未満ですので、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等によれば、令和7年度は2学級ということになります。

令和6年度は「江戸川区教育課題実践推進校」として、第2学年は『プラス1クラス制』で運営いたしました。前例のない取組ではありましたが、令和7年度も研究成果を生かし、なんらかの手だてをおこなっていきたくと考えております。

学校近隣でも住宅の大型開発が計画されているところですが、江戸川区では学校選択制がとられていますので、通学区域外から入学を希望される方が増えることで、学級数の維持や増加につながるようになります。本校への入学を検討されている方がお近くにおいででしたら、本校の良さをいくつか添えるなどしてお声がけをしていただけますと幸いです。学校見学・入学相談等については随時ご対応いたします。



◇「授業の達人」「GTE(グッドティーチャー江戸川)」の受章者について

本校では、本年度「授業の達人」として音楽科・戸津 幸 主任教諭、「GTE(グッドティーチャー江戸川)」として、堀井 理沙 主任養護教諭が受章しました。それぞれ、先進的な取組の推進や江戸川区の教育全体を向上させる実践が評価されたものです。本校教職員一同、今後とも研鑽に努めてまいります。

◇ 学年末考査が近づいてきています

学年末考査が近づいてきています。「一夜漬け」といわれるような方法に頼る生徒、「ノーペン(特に勉強していない)」と言い切ってしまう生徒、テスト開始の直前に必死に教科書やノートを読み返す生徒の姿が見られるのも「風物詩」ですが、これらは「短期の記憶」であり、「生きる力」にはなりにくいのです。

授業で聞いたこと、書いたこと、気づいたこと、知ったこと、覚えたこと、まとめたこと等を「長期の記憶」にして、将来にわたって学習の場だけでなく、生活や会話に生かせるようにしたいものです。

この機会に、予習・復習や宿題を含めた学習の習慣を、いま一度見直して学習にリズムをつけることにも挑戦して欲しいと思っています。

『令和6年度全国学力・学習状況調査報告書』によれば「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」という設問に対して、「できている」と「できていない」と答えた全国の中学生の平均正答率の差は、国語科で18.0ポイント、数学科で24.3ポイントでした。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」では、「当てはまる」と「当てはまらない」と答えた全国の中学生の平均正答率の差は、国語科で17.9ポイント、数学科で24.4ポイントでした。

調査結果には、ふだんのテスト等でも正答率が向上するヒントが隠されていると考えて、次の学習に向けて取り組んでみるとよいのではないのでしょうか。



◇ 部活動について

次年度以降の部活動については、現在の生徒の在籍の有無にとらわれず、「生徒の自主的・自発的な参加と運営」「地域・外部機関の人材の活用」「活動時間・活動内容の工夫」「レクリエーション志向の生徒への配慮」等を総合的に検討し、勝ち負けにこだわらずに運動に取り組む、いわゆる「ゆる部活」の導入等も含め、今後の持続可能性や外部指導員の確保の状況も参考にして開設していくことになります。

文化的な活動をおこなう部活動も含め、外部指導員(令和6年度実績:1回2時間以上での謝礼3000円)のご協力をいただける方がお近くにおいででしたら、ご案内いただけますと幸いです。

【生徒の主な活躍】※生徒の個人名はホームページでは掲載いたしません。ご了承ください。

◎第74回東京都公立学校美術展覧会(～2/19 東京都美術館[17日は休館:19日の最終入場は11時30分])

○技術科の部 作品名:木工作品 ○家庭科の部 作品名:ボール

○美術科の部 作品名:仏像にこめられた想い

◎青少年育成葛西第二地区委員会 令和6年度あいさつ運動標語コンクール 中学生の部

○銅賞 あいさつは 笑顔になれる 近道だ

○入賞 あいさつで 人の心を 健康に

あいさつが 飛び交う地域 ナンバー1

◎吹奏楽部 ◇江戸川区吹奏楽連盟第25回アンサンブルフェスティバル

管打八重奏『マイ・ホームタウン』銅賞

3月末までの主な予定

17日(月)生徒会朝礼・学習展示会終

19日(水)部活動停止期間始

21日(金)都立高校第一次募集入学者選考

25日(火)薬物乱用防止教室(3年)

26日(水)～28日(金)学年末考査

*2月末日までに避難訓練を実施します

3月3日(月)全校朝礼・実力テスト(1・2年)

3月4日(火)安全指導・専門委員会・中央委員会

3月6日(木)ESAT-J YEAR1、YEAR2 実施日

3月7日(金)卒業遠足(3年)

3月11日(火)学校給食運営委員会・学校保健委員会

3月19日(水)卒業式

3月21日(金)保護者会

3月25日(火)修了式

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧ください。➡

